

令和6年3月28日

栗東市長 竹村 健 様

栗東市総合計画審議会
会長 新 川 達 郎



第六次栗東市総合計画の前期基本計画の評価（令和2年度～令和5年度中間）
及び後期基本計画策定に関する意見について（答申）

令和5年7月4日付け、栗地企第35号で諮問のありましたこのことについて、これまで当審議会において慎重に審議をした結果、下記のとおり答申します。

なお、市民目線又は専門的な見地から多くの意見が出されましたので、答申内容に十分配慮され、今後の後期基本計画の策定及び施策、進行管理に反映し、市民福祉の向上及び行財政の効率化のため、より一層の努力をされることを期待します。

記

1. 前期基本計画の評価（令和2年度～令和5年度中間）について

（政策1 経済の安心を生み出す）

コロナ禍での経験を活かし、物価高騰や人手不足の影響等により依然として厳しい状況に置かれている中小企業や小規模事業者、農業者等が多い中で、引き続き必要な支援を行い、地域経済の振興に取り組まれない。

また、新たな産業拠点の形成に向け企業立地の促進に取り組まれるとともに、市内における雇用機会や雇用場所の創出による定住対策を行い、経済活動や投資が循環する仕組みづくりを進められたい。

（政策2 教育・子育ての安心を育む）

結婚から妊娠期、子育て期まで切れ目なく子育て支援を引き続き行い、ヤングケアラー対策や子どもの居場所づくり、親同士のつながりや学びの機会等、教育や子育てが安心してできるまちになるよう引き続き取り組まれない。

（政策3 福祉・健康の安心を築く）

市民が自らの健康についての関心を深め、誰もが安心して生きがいのある暮らし

ができるよう、健康づくりに向けた意識向上に取り組まれない。

また、2025年国スポ・障スポ開催への機運とともに生涯スポーツの活動を推進することで健康づくりへとつなげられたい。

(政策4 暮らしの安心を支える)

地震や大雨等の自然災害などの緊急時において、行政、市民、関係機関などがそれぞれの役割を認識、意識できるように日頃から防災・減災活動に取り組み、十分な危機管理体制を構築されたい。

また、多様性を認め合い、地域コミュニティが充実した誰もが快適に住み続けられるまちへの取り組みを進められたい。

(政策5 行政の安心を営む)

市民との対話をより積極的に行い課題を共有し、市民と行政が協働でまちの課題解決に向けて取り組みを行うとともに、馬をはじめ、市の魅力をSNS等によりこれまで以上に対外的にアピールし、まちの認知度や魅力向上につなげられたい。

また、厳しい財政運営の中でもより一層の財政健全化に取り組まれるとともに、デジタル化等による事務の効率化、行政サービスの品質向上に取り組まれたい。

2. 後期基本計画策定に関する意見について

各所属での総合計画に対する目標設定や評価が、各所属の単独での取り組み内容となっていることから、後期基本計画においては、計画に対する目標設定や評価とされ、評価が低い項目に関しては、分析、検証、改善策を一次評価で示すようにされたい。

また、自然災害や社会経済情勢等により社会が大きく変化する中で、時代に即した後期基本計画となるよう策定されたい。

以上